

NEWS RELEASE

令和 3 年 6 月 24 日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
株式会社 日本政策金融公庫
宇都宮支店

鹿沼市での小松菜生産農家へ融資支援

～コロナ禍で生産規模拡大に挑む農業経営者を協調融資で支援～

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）及び株式会社日本政策金融公庫（略称：日本公庫）宇都宮支店農林水産事業は、株式会社コバヤシファーム（代表取締役 小林 哲哉）に対し、小松菜生産の規模拡大に必要となる設備資金及び運転資金について、協調して融資を行いましたのでお知らせ致します。【融資概要は後掲】

<ポイント>

○巣籠り需要による増産要請に応え小松菜ハウス増設を決意、アジアGAPにも取組む

平成 24 年設立のコバヤシファームは、鹿沼市で小松菜やホウレンソウを生産する農業法人です。品質管理が徹底された当社商品は、主要取引先である食品スーパーから高い評価を受けていましたが、小松菜は露地栽培が大半を占めており天候に左右されやすいため、収穫量が安定しないという課題を抱えておりました。

かねてからハウス栽培面積拡大の必要性を感じていた当社ですが、昨今の新型コロナウイルスの影響による巣籠り需要の拡大もあり、取引先から更なる供給量増加の要請がありました。このため、安定した収量の確保及び生産量の増加を図るべく、小林社長は小松菜ハウスの増設を決意されました。

また、当社は今年 3 月に農業生産工程管理の国際基準である「アジアGAP」の認証を取得し、安定した品質の確保、安定的な供給体制の整備にも取り組んでいます。

○農業分野で栃木銀行と日本公庫が連携

日本公庫は、当社の経営戦略及び小林社長の経営能力を事業性評価のスキームにより評価し、小松菜ハウス建設に必要な設備資金 56 百万円を融資しました。栃木銀行は、経営が軌道に乗るまでの資金繰り安定化の観点から、規模拡大に必要となる運転資金 30 百万円を融資し、協調して支援しました。

今後も栃木銀行と日本公庫は連携を強化し、コロナ禍の中でも挑戦する農業経営者を積極的に支援してまいります。

NEWS RELEASE

○ 融資の概要

名 称	株式会社 コバヤシファーム（代表取締役 小林 哲哉）
資 本 金	100 千円
所 在 地	栃木県鹿沼市深津 1252
設 立	平成 24 年 2 月
事業内容	小松菜、ホウレンソウ等の生産
資金使途	小松菜ビニールハウス、運転資金
融資金額	日本公庫 56 百万円、栃木銀行 30 百万円